

『全国学力・学習状況調査の結果から』

4月17日に、6年生を対象として行われた、全国学力・学習状況調査「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」について分析し、今後の課題や改善の方向についてまとめましたので、お知らせいたします。

<国語>

観点項目別に、本校の結果を全国・北海道平均と比較してみると、下の表のようになります。

【平成30年度 全国・全道平均との観点別比較表】

	国語 A	国語 B
話す・聞く に関する問題	△ (△)	△ (△)
書くこと に関する問題	▲ (▲)	▲ (▲)
読むこと に関する問題	△ (○)	▲ (▲)
言葉の知識理解に関する問題	▲ (▲)	

＜平均との比較＞
 ◎ 上回っている
 ○ ほぼ同程度でやや上回っている
 △ ほぼ同程度でやや下回っている
 ▲ 下回っている
 * () は北海道平均との比較



□今回の調査における課題と改善の方向

	今回の調査における課題	改善の方向
話す聞く	<ul style="list-style-type: none"> 互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら話し合うこと。 相手や場面に応じて敬語を使うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し相手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べながら考えをまとめるように指導をします。 調べ学習の目的を明確にし、調べる内容を具体的に、自分が必要とする情報が見付けられるように指導をします。
書く	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じた書き方をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが相手に伝わるように、文章の構成やその効果を考えながら書くように指導をします。
読む	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常のノートや作文などで、既習の漢字を正しく使って書くよう指導したり、国語辞典や漢字辞典の利用を習慣付けたりする指導の充実を図ります。
言葉	<ul style="list-style-type: none"> 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くこと。 相手や場面に応じて敬語を使うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常から、場面に合わせて敬語を使うことに慣れるように指導を継続します。

<算数>

学習領域に合わせた問題別に、本校の結果を全国・北海道平均と比較してみると下の表になります。

【平成30年度 全国平均との観点別比較表】

	算数 A	算数 B
数と計算 に関する問題	▲ (▲)	▲ (▲)
量と測定 に関する問題	△ (△)	▲ (▲)
図形 に関する問題	▲ (▲)	▲ (▲)
数量関係 に関する問題	▲ (▲)	▲ (▲)

＜平均との比較＞
 ◎ 上回っている
 ○ ほぼ同程度でやや上回っている
 △ ほぼ同程度でやや下回っている
 ▲ 下回っている
 * () は北海道平均との比較



□今回の調査における課題と改善の方向

	今回の調査における課題	改善の方向
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> 小数のわり算の意味や計算の仕方を理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算の意味をしっかりと教え、計算の仕方を身に付けることができるよう指導の充実を図ります。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> 単位量当たりの大きさを求めること。 180度より大きな角度を求めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までに習った単位を基にし、新たに学習する量の比較や測定に活用できるように指導の充実を図ります。
図形	<ul style="list-style-type: none"> 直径の長さや円周の長さの関係について理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業的・体験的な活動を通して、図形の性質について理解を深めることができるよう指導の充実を図ります。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> 百分率を求めること。 折れ線グラフから変化の特徴を読み取ること。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を図や数直線に表し、式と関連付けて問題内容を捉え、問題を解くことができるよう指導の充実を図ります。 グラフを書く作業を取り入れ、グラフ全体の変化を読み取ることができるよう指導の充実を図ります。

<理科>

学習領域に合わせた問題別に、本校の結果を全国・北海道平均と比較してみると下の表になります。

【平成30年度 全国平均との観点別比較表】

		理科
物質	に関する問題	△ (△)
エネルギー	に関する問題	▲ (▲)
生命	に関する問題	◎ (◎)
地球	に関する問題	▲ (△)

<平均との比較>	
◎	上回っている
○	ほぼ同程度でやや上回っている
△	ほぼ同程度でやや下回っている
▲	下回っている
* () は北海道平均との比較	



□今回の調査における課題と改善の方向

	今回の調査における課題	改善の方向
物質	・実験結果を分析して考察すること。	・実験を行う際に、実験結果の予想を立て、結果と予想を照らし合わせ分析できるように指導をします。
エネルギー	・乾電池のつなぎ方によって電流の向きが変わることを理解し、実際の回路に活用すること。	・ソーラーカーや、電磁石を使った車作りなどの場面で、理科で学んだ知識をどのように活用するかを明らかにして指導をします。
生命	・生物の観察をするための適切な方法を考えること。	・植物や生物を観察したり、触れたりする機会を作り、安全への配慮や、生物への影響を考えさせるようにします。
地球	・流れる水の働きと土地の浸食について基本的な概念を理解すること。	・科学的な言葉や概念を理解することができるよう、野外観察や実験などを行い、自然の事象と言葉を一致させるような学習活動を取り入れていきます。

<学習状況に関する児童のアンケートの回答から>

◎ 全国・全道平均よりも意識が高い。

▲ 全国・全道平均よりも意識が低い。

回答結果から	今後の手立て
◎「自分にはよいところがある」 ▲「将来の夢や目標をもっている」	日常の学習や生活・行事の中で、自分の目あてをもち、最後までやり遂げたり、友達同士のよさや頑張りやを認め合う場を作ったりして指導を続けていきます。
▲「朝食を毎日食べている」 ▲「毎日同じ時間に起きたり、寝たりしている」 ▲「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする」	基本的な生活習慣を身に付けさせるため、学校と家庭が連携して取り組むことが大切であると考えています。御家庭でも、お子様の様子を見ていただき、話をするなどして、御心配な点がありましたら、すぐに学校にも知らせていただきますようお願いいたします。
◎「家で学校の授業の予習・復習をしている」 ◎「家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において教科書を使いながら学習している」	「家庭学習のススメ」を活用し、宿題のほか、家庭学習ノートなどで、学習の予習・復習など自分にとって必要な学習を行うよう指導を継続します。御家庭でも、励ましの声掛け等、御協力をお願いします。
◎「地域の行事に参加している」 ◎「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」	社会科・総合的な学習において、地域や社会の出来事について考える活動や体験的な活動を工夫し、関心を更に高めていきたいと考えています。
◎「理科の授業はよくわかる」 ◎「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある」 ▲「算数の勉強は好き」 ▲「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」	子どもにとって「わかる・できる・楽しい」授業づくりをめざし、もっとやってみたいと意欲が向上する学習活動を工夫していきます。また、今年度は、ペアやグループで話し合う活動を多く取り入れ、自分の考えを深めたり、広げたりできるようにしていきます。

簾舞小の子どもたちのよいところをこれからも大切にするとともに、課題の解決に向け、改善の手だてを考えていきます。学校の主役である子どもたちが、教室でその力を大いに発揮できるよう教職員一同力を合わせていきますので、皆様の御理解と御協力を今後ともよろしくお願いいたします。

『全国体力・運動能力・運動習慣調査結果の分析から』

<調査の概要>

5年生を対象に6月に実施した結果です。全国平均及び北海道平均は平成29年度のものであります。

<平均との比較> * () は北海道平均との比較
 ◎上回っている ○ほぼ同程度でやや上回っている
 ▼ほぼ同程度でやや下回っている ▼下回っている

<平成29年全国平均・北海道平均と平成30年本校の平均を比較したもの>

種目別男子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ
比較	◎(◎)	▽(○)	▽(▽)	◎(◎)	▼(◎)	▽(○)	▼(▼)	◎(◎)
男子平均	22.53	19.53	32.20	43.73	51.07	9.39	149.13	31.60
全国平均	16.51	19.92	33.16	41.95	52.23	9.37	151.73	22.52
北海道平均	17.33	19.39	32.98	41.95	47.99	9.58	151.88	23.10

種目別女子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ
比較	◎(◎)	◎(◎)	▽(▽)	▼(▼)	▼(▼)	▽(▽)	▼(▼)	○(○)
女子平均	19.24	19.18	36.18	37.00	39.71	9.95	132.18	14.00
全国平均	16.12	18.80	37.44	40.06	41.62	9.60	145.49	13.93
北海道平均	16.79	17.90	37.07	39.67	37.02	9.79	145.05	14.00

【今後に向けた取組】



アンケートでは、「日常的にスポーツや体を動かす遊びを楽しんでいる」と回答された御家庭が多く、学校でも朝活動の縄跳び・休み時間等の外遊びを奨励してきたことが、男女の筋力・スピード・投力、男子の敏捷性の好結果につながっていると考えられます。瞬発力・全身持久力といった体力要素については、体育の授業等において運動量を増やし、力いっぱい体を動かす機会やボール運動をする機会を増やしていきます。また、困難なことに対して、すぐにあきらめずに粘り強く運動する強い心を育てることも大切な要素と考え指導を続けていきます。さらに、学級での遊びやみんなで体を動かす楽しさを体感させる取組を増やしていきたいと考えています。